

遠隔授業の支援システムを無償公開 福井大学

2020/8/26 17:36 | 日本経済新聞 電子版

福井大学は26日、遠隔授業の支援システムの無償公開を始めたと発表した。5月以降の授業をオンデマンド配信としたことにあわせ、福井大医学部附属教育支援センターと永和システムマネジメント（福井市）が共同で開発していた。

名称は「F.MOCE（エフ・モス）」。米グーグルのオンラインサービス「G Suite（ジースイート）」を中心に、オンラインストレージやアンケート集計など同社のサービスを横断的に組み合わせた。すでに医学部の授業で導入しており、他学部での活用も検討する。



遠隔授業支援システムを説明する医学部附属教育支援センターの安倍博センター長（26日）

フォルダは講義ごとに分けられており、教員は授業動画や資料を投稿しやすい。学生もスマートフォンなど端末環境に左右されずに閲覧や課題提出ができる。教員や学生のアクセス権をフォルダごとに細かく変えられるほか、アンケート機能などを利用して学生が動画を閲覧したかを一括管理できる。

26日からオープンソースソフトウェアとして、ほかの大学などもダウンロードすれば使えるようにした。サポートなどは永和システムマネジメントが協力する。同社の羽根田洋・医学教育支援室長は「誰がつくった明確なので安心して使ってほしい」と話した。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI Nikkei Inc. No reproduction without permission.

